

「船舶更新に向けた航路診断」業務
提案書作成要領

広島県が実施する「船舶更新に向けた航路診断」業務に関し、プロポーザル参加者が提案書を作成するために必要な事項は次のとおりとする。

なお、「船舶更新に向けた航路診断」業務仕様書の趣旨に沿って提案すること。

1 提出書類

書類名	様式	部数	備考
提案書提出添書	別紙様式 (A4版)	1部	—
提案書	任意 (A4版)	正本1部 副本9部	—
見積書	任意 (A4版)	正本1部 副本9部	—
提案者の組織・概要が分かる資料	任意 (A4版)	1部	・既存の資料(パンフレット等)

2 提案書の作成等

(1) 規格

- ア 用紙は、原則A4版両面使用とし、縦置き横書き(横綴じ)とすること。ただし、図表の表現の都合上、用紙および記述の方法を一部変更することは差支えないものとする。
- イ ページ番号は目次を除き通し番号とし、各ページの下部中央に印字すること。
- ウ 製本、糊付け等をせず、クリップ等の簡易な方法で留めて提出すること。

(2) 提案書の作成要領

- ア 提案書記載事項一覧(別紙)に掲げる事項を任意様式で記入すること。
- イ 提案書の副本は、審査資料として使用するため、会社名、住所、ロゴマークなど、プロポーザル参加者を特定できる表示を記載しないこと(提案者に言及する際は「当社」等と記載)。

(3) 見積書の作成要領

- ア 提案する業務の実施に要するすべての経費を計上すること。
- イ 積算の内訳を具体的に記載すること。
- ウ 消費税及び地方消費税相当額を含めた総額を記載すること。
- エ 総額が事業予算額(上限)を超えた場合は、失格とする。

「船舶更新に向けた航路診断」業務 提案書記載事項一覧

提案書の記載項目	記載事項	評価項目・基準	配点	係数	点数
1 業務の方針	○業務の目的及び目指す姿	○本業務の背景や課題を理解した提案となっているか。	5	1	5
2 船舶更新に向けた航路診断業務					
(1) 診断①：島と本土を結ぶ海上交通の現状分析・将来予測 (対象：診断②の航路が所在する2島)	○島と本土を結ぶ海上交通の現状分析、将来予測 ○島内の陸上交通の現状分析、将来予測 ○各航路の特性（島の交通における役割）の特定	○島しょ部地域の海上交通・陸上交通に関する現状分析、将来分析を行うための専門的な知見やノウハウを有しているか。	5	2	10
		○現状分析、将来分析を行うための適切な調査手法が提案されているか。	5	2	10
		○島と本土を結ぶ海上交通や島内の陸上交通全般を俯瞰した上で、各航路の特性（島の交通における役割）を特定できる提案となっているか。	5	3	15
(2) 診断②：航路改善シナリオの策定 (対象：2航路)	○経営状況診断 ○経営改善シナリオの策定 ○新造船の機能・仕様策定 ○新造船導入効果の算定 ○船舶更新可否の診断 ○船舶更新後の経営状況のシミュレーション	○航路の現状や将来予測を踏まえて、改善に向けた効果的なシナリオの策定を期待できる提案になっているか。	5	3	15
		○新造船の機能・仕様策定、導入効果の算定を実施するための専門的な知見やノウハウを有しているか。	5	2	10
3 業務執行体制					
(1) 業務執行体制	○本業務を確実に実施するための業務の執行体制	○進捗管理や県との協議内容の共有が円滑に行える体制が確保されているか。	5	1	5
(2) 業務執行スケジュール	○本業務の実施スケジュール	○計画的で無理のないスケジュールとなっているか。	5	1	5
4 類似業務の実績	○過去に受注し完了した類似業務の実施年度、業務名、業務内容（簡潔に）、発注者、契約額（千円単位、税込額）	○過去の業務経験に基づく知識やノウハウの活用が期待できる業務実績を有しているか。	5	2	10
5 本業務の目的に応じたその他の提案	○仕様書で指定した業務内容以外で実施可能な事項	○成果をより上げることが期待できる有益な提案となっているか。	5	1	5
6 見積額	※見積書を提出	○次の算定式による。 配点（5点）×（提案者中の最低見積金額）／当該提案者の見積金額 ※小数点以下を四捨五入	5	1	5
		○提案に応じた業務内容が計上されているか。	5	1	5
合 計			-	-	100